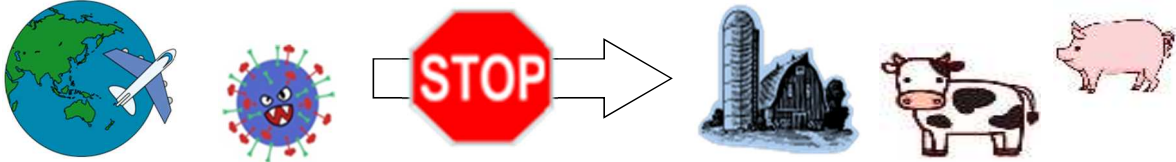


夏季休暇期間中の防疫対策の徹底をお願いします。

近隣諸国からのアフリカ豚コレラ、口蹄疫等の侵入リスクは依然高い状況です。



夏季休暇の時期を迎え、海外との人の往来や物流が増え、家畜伝染病の国内への侵入リスクが高まっています。改めて病原体侵入防止対策の徹底をお願いします。

○海外渡航の自粛

本病発生地域への渡航は可能な限り自粛すること
やむを得ず、渡航する場合は以下の点に注意すること

海外渡航中の注意点

- ・畜産関連施設（家畜市場、農場、と畜場）に立ち入らない。
- ・肉製品等を日本に持ち帰らない。

帰国後の注意点

- ・帰国後一週間は、農場内へ立ち入らない。
- ・海外で使用した衣服、靴等は農場内に持ち込まない。

○外国人技能実習生等への指導徹底

- ・日本に入国後一週間は、農場内に入れさせない。
- ・海外で使用した衣服、靴等は農場内に持ち込ませない。
- ・出身国の家族等から肉製品等が送付されることがないように、外国人技能実習生に指導する。

○防疫対策の徹底

衛生管理区域への病原体持込みの防止の再徹底

- ・農場内への関係者以外の立入をさせない、また物を持ち込ませない。
- ・農場に持ち込む物品や車両の消毒を徹底する。
- ・農場出入口に踏み込み消毒槽を設置して靴底の消毒の徹底をする。

○早期発見・早期届出の徹底

- ・家畜に異常が認められた場合は、すぐに、かかりつけの獣医師または最寄りの家畜保健衛生所へ連絡してください。

県央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279（夜間・休日）090-7205-0895

県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144（夜間・休日）090-7205-1402

県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825（夜間・休日）090-7205-1826